

(4) 生活指導

1. 目 標

児童の発達段階を考慮して、学年別に基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、心身ともに健全な子どもを育てる。

2. 努力点

- ・子どもの表面的な行動だけでなく内面もとらえて指導する。
- ・具体的な指導や話し合い活動による指導を十分行い、最終的には、自主的に自分の生活を高めていける子どもを育てる。

3. 具体的な取り組み

- ① 全学年を通して、基本的な生活習慣を身につけさせる。
 - ・生活アンケート、生活ノート等で一人ひとりの生活実態を知り指導に生かす。
- ② きまりの意義、内容について理解させ、進んでこれを守ろうとする心を育てる。
 - ・学級活動、委員会、児童会等と関連させて
- ③ 不登校・いじめ等気になる子どもの様子を知り、担任だけでなく、職員間の連絡を密にして指導する。
- ④ 細かいことも見逃さず指導するとともに、小さい善行も見逃さず賞揚し励ます。
- ⑤ 必要に応じて家庭訪問し、家庭と協力しあって指導する。

4. 全学年共通指導内容

- ① あいさつや言葉づかいは心をこめて気持ちよく
進んで気持ちのよいあいさつや言葉づかいができるようにし、一人ひとりを大切にしよう心育てる。
- ② 歩こう静かに右側を
学校は心を見がき、体を鍛える場と考え、落ち着いて生活することができるようにする。また校舎を静かに歩く習慣を身につけることによって、みんなの安全と自分の安全に気をつけて生活する態度を育てる。
- ③ 合図で行動てきぱきと
学習、遊び、清掃などをチャイムの合図でけじめをつけて行い、一日一日をゆとりと充実をもって過ごすことで規律正しい心と行いを身につける。
- ④ そうじはみんなで助け合って
自分の教室、自分たちの学校を自分の力で整理整頓したり、きれいにしたりして、美しい環境にし、みんなが仲よく気持ちよく生活できるように努力する心を育てる。
- ⑤ 次の人のことを考えて
気持ちのよい集団生活をするための正しいルールやマナーを身に付ける機会として、トイレのスリッパをそろえたり、使った遊具をもとにもどしたりすることの大切さに気付き、進んで行動できる態度を育てる。

5. 具体的な実践内容（月目標）

	実践内容	目標
4月 5月	トイレのスリッパをそろえてぬぐようにしよう。 チャイムを守って次の行動をしよう。	次の人のことを考えて チャイムの合図で
6月 7月	進んで気持ちのよいあいさつをしよう。 廊下、階段は右側を歩こう。	礼儀正しいあいさつ 静かに右側通行
9月 10月	早く取りかかり、最後まで一生懸命しよう。 「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」を進んで言おう。	掃除は助け合って 礼儀正しいあいさつ
11月 12月	気持ちのよい言葉づかいをしよう。 使った道具は元のところにきちんともどそう。	礼儀正しい言葉づかい 次の人のことを考えて
1月 2月	道具はていねいに使い、元のところにきちんと返す。 寒さに負けずに心と体をきたえよう。	掃除は助け合って 自分の生活を見つめて
3月	みんなの物を大切にしよう。	次の人のことを考えて

生活指導上の確認事項

- ◆各月の実践内容を正門前や各教室に掲示し、全職員で繰り返し指導する。
- ◆帽子については頭の安全面からかぶるように指導する。
- ◆校内では名札をつける。
- ◆原則としてランドセルを使用するように指導する。
- ◆上靴で移動できる範囲は、コンクリートの上に限る。
- ◆上靴と体育館シューズのけじめを確認しておく。
- ◆夏の体操服のすそは、ズボンの中にしまう。
- ◆寒い時期の体育では、各自長袖の上下のジャージ等を用意する。（コート類は着用しない）
- ◆シャープペンシルの使用は原則として禁止。
- ◆忘れ物は、家に取りに帰らせない。
忘れ物を学校に取りに来る場合は、
①来る前に電話を入れる。 ②教室に行く前に職員室に声をかける。 ③帰る時も職員室に声をかける。 などの手順を知らせておく。
- ◆校区外へは、親の許可なく子ども同士で遊びに行かないように指導する。
- ◆登校する（学校に着く）時間帯は、原則として午前7時30分～8時20分までとする。
- ◆下校時刻は、遅くとも午後4時とする。これより遅くなる時は、家庭に連絡する。
- ◆下校後、学校に遊びに来た時は、午後4時30分までとする。